

議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!

vol.9

# 議員ふじさん歩

今回の取材担当:井出 晴美

かげすえ

## 梶原景季ゆかりの源太坂



県立吉原高校の西側にある坂道に『源太坂』の碑があります。名前の由来として、伝承されている物語を御紹介します。

寿永3年(1184)、木曾義仲追討のため、源頼朝は弟の義経を大将とした軍勢を京都に向かわせました。これに加わった頼朝の重臣、梶原源太景季は、頼朝の名馬「生食」を欲したが許されず、代わりに「磨墨」という名馬を拝領しました。ところがこの後、頼朝が佐々木四郎高綱に「生食」を与えたため、悔しく思った景季は、この坂で高綱を問い詰めました。焦った高綱は「拝領したのではなく、頼朝から盗んできた」と言ってその場を収めました。以来、この地は名馬「生食」と「磨墨」の馬比べをした地として知られています。

源太坂の桜並木がきれいな春にぜひお散歩してみてください。



議会の構成

特集

6月臨時会／定例会等

常任委員会の審査

一般質問一覧等

議会広報委員のページ

### 議会にひと言



富 土市は、県東部地区最大の都市でありながら、セールスポイントの少ないまちだと思います。地域産業等への投資意欲やノウハウの習得が不足した結果でしょうか。埋もれた産業、観光資源は多くあり、特に田子の浦しらすは超一級品で、鮮度、味等申し分ありません。また、神社仏閣等で歴史的文化的な価値を有する資源も数多くあります。市保有のスポーツ施設、富士川河川敷等未活用資源の検証、発掘も早急に着手、検討してほしい事項です。地域団体等で個々に対応している案件を集中対応する機能が必要かと考えます。市民等が主導の検討会を立ち上げてほしいと思います。期待しております。

へ今回の、富士第一地区生涯学習推進会前会長の坂本實さんに、議会への御意見を伺いました。(インタビュー：吉川 隆之)

## 議会 vol.9 ヒストリー

### ふじ市議会だより 発行開始(昭和49年)



ふじ市議会だよりは、昭和49年5月に試作号が、同年10月に第1号が発行され、今回の第184号まで46年間にわたり、富士市議会の様子を市民の皆さんへお伝えしてきました。

第1号の記事では、田子の浦海岸の浸食の抜本的対策について、現地調査等を行い審査してきた結果、国に対し意見書を提出すべきとの提案がなされ、これを可決、当時の内閣総理大臣等に提出したことを伝えています。

第125号より「議会だより編集委員会」が発足し、議員も編集委員として加わり、議会活動への興味・関心や理解を深めていただけるような紙面作りに取り組んでいます。(担当：長谷川祐司)



## 編集後記

感染症拡大防止のため、議会の傍聴を自粛いただいております。傍聴者なしの議会には、何かもの足りなさを感じます。やはり傍聴席からの熱い視線はありがたく、早い収束を願うばかりです。

(井上 保)



## 次回定例会予告

9月定例会は、9月9日から10月9日まで開催され、一般・特別会計、水道・公共下水道・病院事業会計の決算審査等が行われる予定です。

発行  
**富士市議会**  
編集  
**議会広報委員会**  
静岡県富士市永田町1丁目100番地  
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト  
**富士市議会**